進捗報告書 (実行団体)

● 提 出 日 : 2022年 10月 5日

事業名: ふくしまのこども食堂組織基盤整備事業資金分配団体: 一般社団法人 全国食支援活動協力会実行団体: 特定非営利活動法人 寺子屋方丈舎

実績値

【資金支援】

アウトプット	指標	目標値	達成	現在の指標の達成状況	進捗
			時期		状況
					*
0101.「こども食	運営者が寄付、	県内こども食堂の半	2023 年	食材の配布が昨年同時期とほぼ同じ量を供給することが	2
堂等居場所」を支	助成金、食材、	数以上が寄付、助成	3 月	できている。(2022 年 4 月~9 月 224 団体に対して 14.54	
える企業(ヒト・	ボランティアの	金、食材、ボランティ		トン、2021 年 4 月~9 月 205 団体に対し 14.47 トン)	
モノ・カネ等) が	供給を受けるこ	アの供給が増えたと		冷凍食材の寄贈が 2021 年同時期は食肉 1 件(8 団体)の	
集まる	とが増えている	回答する		受け入れであったが、今年度は4件(60団体)と増加。ロ	
	と感じている			ジハブ整備で冷凍冷蔵庫の配備できた影響も大きいと感	
				じている。今後も安定的に食材供給できる仕組みを構築し	
				たい。	
0102.地域に「こ	県内 90 ヵ所に	90 ヵ所	2023 年	2022 年 7 月の福島県こども政策課の最新調査結果では、	2
ども食堂等居場	向けて担い手候		3月	福島県内に子どもの居場所が 115 か所となっている。その	
所」を運営したい	補が増える			うち食事や食材を定期的に提供しているのは 80 か所程度	
という人(組織・				と想定している。引き続き増加傾向にあり、こども食堂の	

機関等) が増える				立ち上げ希望者からの問合せも継続している為、目標達成	
				に向け数字は堅調。立ち上げの相談受け付けとともに各団	
				体の活動の継続性を高められるよう支援していく。	
0103.新型コロナ	①コロナ感染拡	①8割以上のこども	2022 年	正会員団体の活動状況(正会員アンケートより)	2
ウイルス感染拡	大で7割以上の	食堂等居場所が新型	3 月	●2022 年 9 月 (n = 51 件)	
大収束後もこど	こども食堂等居	コロナウイルス感染		弁当やフードパントリーに変更して開催 25.5%	
も食堂等居場所	場所が活動を自	拡大収束後に無事再		通常活動と弁当・フードパントリーを併用 23.5%	
が安定して活動	粛している。	開することができて		通常活動 35.3% (昨年9月20.8%)	
できるようにな	②コロナ流行中	いる。		自粛・休止中 2%	
3	の活動につい	②地域との繋がりを		●2022 年 7 月 (n = 48 件)	
	て、地域からの	作るきっかけとなり、		弁当やフードパントリーに変更して開催 22.9%	
	理解を得られる	関係性が改善してい		通常活動と弁当・フードパントリーを併用 25%	
	苦慮している団	る好事例がある。		通常活動 37.5% (昨年7月31.6%)	
	体がある。	③企業等からの支援		自粛・休止中 2.1%	
	③コロナ感染拡	を受け、コロナ渦中も		2022 年 5 月 (n = 37 件)	
	大中の活動のた	無事活動ができ、収束		●弁当やフードパントリーに変更して開催 29.7%	
	めの資金や物資	後も安定的に活動で		通常活動と弁当・フードパントリーを併用 32.4%	
	を必要としてい	きる状態がある。		通常活動 27% (昨年 5 月 18.2%)	
	るこども食堂等			自粛・休止中 5.4%	
	居場所			今年度ついてはコロナ感染状況により通常活動の割合に	
				増減があるが、昨年度と比較すると通常開催ができるよう	
				になっている。地域の理解やコロナ禍での実施要領が各こ	
				ども食堂で高まってきていることが感じられる。一方で、	
				フードパントリーの食材や弁当容器などの負担が利用者	
				の増加に伴って大きくなっている。	

0104.こども食堂 等居場所が生鮮 食品を含む常温・ 冷蔵・冷凍の多様 な食材の寄付を 受けられるよう になる	生鮮食・冷水・大きないのでは、できないのでは、できないのでは、できないできないが、できないできないが、できないではないでは、できないではないでは、できないではないでは、できないではないではないではないではないではないではないではないでは、できないではないではないではないでは、できないではないではないでは、できないではないではないではないでは、できないでは、ではないで	①生鮮品の受け入れ 実績が年 5 件程度生 まれている ②月 2~3 件の物資配 布が行われている ③正会員以外の団体 にも配布できている、 40 団体程度	2021 年 10 月	ふくしまこども食堂ネットワークでは、寄付金と助成金を活用し 2022 年 7 月に「ふくしまのこども応援助成」を実施し、加盟団体を対象に 18 件 2,991,000 円の資金助成を実施した。 ① 2022 年 4 月~9 月に 4 件の冷凍冷蔵品を受け入れ、2.75 トンの物資を 60 団体に配布。今回新たに愛媛漁業から冷凍加工品 (8500 パック、約 2.5 トン) の大きな支援を受けた。 ② 2022 年 4 月~9 月に 12 回の配布を実施。月平均 2 回 ③ 福島市こども食堂ネットワークを通じて、ふくしまこども食堂には加盟していないこども食堂のべ 40 団体への配布を実施。また 2022 年 4 月~9 月の間に 24 件の新加盟があり、加盟団体は 64 件と増加した。	2
0201.学校が「こ	こども食堂があ	県内こども食堂の半	2023 年	小学校との連携は前回同様約5割のこども食堂が連携を実	2
ども食堂等居場	る地域の学校が	数以上が地域の学校	3月	感している。依然として地域差があり、学校連携を希望す	
所」のことを伝え	そのこども食堂の様恕を持って	と何かしらの連携が		る団体にはPTAや子ども会を入り口につながりをつく	
てくれるように	の情報を持って	できていると回答す		るよう支援を行っている。	
なる	いる	る 			

0202.学校以外の 市区町村の社協 県内こども食堂の半数以上が地域の社協・ 3月 3月 1 日 2
「こども食堂等 口がその地域の ことも食堂の情 かしらの連携ができ 伝えてくれるようになる
居場所」のことを 伝えてくれるようになる
伝えてくれるようになる 報を持っている でいると回答する いわき市の子育て支援課と共催で子ども食堂立ち上げ講座を進行中。行政・社協との連携事例を集め横展開していきたい。 2031. 「こども食 運営者が社会資 県内こども食堂の半数以上が地域の社会 数以上が地域の社会 数以上が地域の社会 資源とつながりが増えたと回答する で2023年 で2023年 で3月 で2回集施した。のべ15回体を知ってもらうためのチラシづくりの広報講座を外部講師を招聘し9/15(福島市)と9/30 (郡山市)で2回実施した。のべ15回体が参加し、PC を持ち込んでこちらの準備したテンプレートを用いてオリジナルチラシを作成した。出来上がったチラシは印刷費をネットワークで補助して配布する予定。
うになる 座を進行中。行政・社協との連携事例を集め横展開していきたい。 0301. 「こども食 運営者が社会資 票内こども食堂の半 堂等居場所」が望 源とつながって 数以上が地域の社会 さ社会資源(商店 らと実感して いると実感して りの広報講座を外部講師を招聘し9/15(福島市)と9/30 くりの広報講座を外部講師を招聘し9/15(福島市)と9/30 (郡山市)で2回実施した。のべ15団体が参加し、PC を持ち込んでこちらの準備したテンプレートを用いてオリジナルチラシを作成した。出来上がったチラシは印刷費 をネットワークで補助して配布する予定。
2023 年
0301. 「こども食 運営者が社会資 県内こども食堂の半 2023 年 地域内での子ども食堂の認知について課題を感じている 2 世代会資源(商店 いると実感して いると実感して 次、学童、こども クラブなど) とつ ながることがで ながることがで 2023 年 地域内での子ども食堂の認知について課題を感じている 2 声が多かったため、自団体を知ってもらうためのチラシづ くりの広報講座を外部講師を招聘し 9/15 (福島市) と 9/30 (郡山市) で 2 回実施した。のべ 15 団体が参加し、P C を持ち込んでこちらの準備したテンプレートを用いてオ リジナルチラシを作成した。出来上がったチラシは印刷費 をネットワークで補助して配布する予定。
堂等居場所」が望 源とつながって 数以上が地域の社会 3月 声が多かったため、自団体を知ってもらうためのチラシづ くりの広報講座を外部講師を招聘し 9/15 (福島市) と 9/30 (郡山市) で 2 回実施した。のべ 15 団体が参加し、P C を持ち込んでこちらの準備したテンプレートを用いてオ リジナルチラシを作成した。出来上がったチラシは印刷費 をネットワークで補助して配布する予定。
堂等居場所」が望 源とつながって 数以上が地域の社会 3月 声が多かったため、自団体を知ってもらうためのチラシづ くりの広報講座を外部講師を招聘し 9/15 (福島市) と 9/30 (郡山市) で 2 回実施した。のべ 15 団体が参加し、P C を持ち込んでこちらの準備したテンプレートを用いてオ リジナルチラシを作成した。出来上がったチラシは印刷費 をネットワークで補助して配布する予定。
む社会資源(商店 いると実感して 資源とつながりが増 くりの広報講座を外部講師を招聘し 9/15 (福島市) と 9/30 会や児童館, 学 いる (郡山市) で 2 回実施した。のべ 15 団体が参加し、P C 校, 学童, こども を持ち込んでこちらの準備したテンプレートを用いてオリジナルチラシを作成した。出来上がったチラシは印刷費をネットワークで補助して配布する予定。
会や児童館, 学 いる えたと回答する (郡山市)で2回実施した。のべ15団体が参加し、PC を持ち込んでこちらの準備したテンプレートを用いてオ リジナルチラシを作成した。出来上がったチラシは印刷費 をネットワークで補助して配布する予定。
校, 学童, こども を持ち込んでこちらの準備したテンプレートを用いてオ リジナルチラシを作成した。出来上がったチラシは印刷費 をネットワークで補助して配布する予定。
クラブなど) とつ リジナルチラシを作成した。出来上がったチラシは印刷費 ながることがで
ながることがでをネットワークで補助して配布する予定。
ē ā
0302.地域住民が 運営者が地域住 県内こども食堂の半 2023 年 活動するためのボランティア基礎数は満たされているも 2
「こども食堂等 民からの理解得 数以上が、ボランティ 3月 のの、活動を継続するためには、PC 作業が得意な方や保
居場所」を理解 て、ボランティ アの供給が満たされ 護者の相談を受けられる人材が必要で、育成に課題のある
し、協力的になるアが充足していていると回答する 団体が多い。
スタッフの若返りを検討している団体もあるので、引き続
き人材育成の機会を提供していく。

0401.「こども食	運営者がこども	県内こども食堂の半	2023 年	コロナ禍で共食の時間が作れないことがあり、お弁当配布	2
堂等居場所」の活	とコミュニケー	数以上が、こどもたち	3 月	の前後の時間で外遊びや農作物の収穫体験のプログラム	
動者が十分なス	ションが取れて	との関係性について		を行うなど活動を工夫している団体が多い。ネットワーク	
キルを有してい	いる	良好と回答する		では学習支援や外遊びを専門に行う団体とこども食堂を	
る (ここでのスキ				つなぐ機会をつくっており、そういった活動を引き続き支	
ルとは, こどもの				援していく。	
話に耳を傾ける					
や色々な気づき					
を得られる, など					
様々)					
0402.地域に多様	地域に十分なこ	90ヵ所になっている	2023 年	福島県の調査では子ども食堂等の居場所が引き続き増加	2
な「こども食堂等	どもの居場所が		3 月	している。こども食堂ネットワークに今年度加盟した24団	
居場所」ができる	開設されている			体も母体が多様化している。内訳はボランティアの任意団	
(色々な人が参				体 14 件、NPO 法人 3 件、スポーツクラブ 1 件、一般社団	
加できるような)				法人2件、学校法人1件、社協1件、お寺1件、農家1件。	
0501.「こども食	運営者が食育の	県内こども食堂の半	2023 年	正会員アンケートでは8割以上の団体が食育の大切を理解	2
堂等居場所」が	大切さを感じて	数以上が、食育に関す	3 月	していると回答しており、半数以上の団体が農水省補助事	
「食育」を理解す	いる	る何らかの取り組み		業や食品企業のレシピ集を活用した食育プログラムを行	
る		を行っていると回答		っている。	
		する			
L	l	<u> </u>	1	I .	

0502「こども食	運営者と参加者	こども食堂の半数以	2023 年	コロナ対応でスタッフはこどもと一緒に食事はしていな	3
堂等居場所」が楽	が一緒に食事を	上が、こどもたちと一	3 月	いことがほとんどである。従って遊び等何らかの食事以外	
しい食卓を囲め	とっている	緒に食事をとってい		のプログラムの時間を設けてコミュニケーションを図っ	
る場になれる		ると回答する		ているかを確認していきたいと考えている。	
		⇒こども食堂の半数			
		以上が、食事以外のプ			
		ログラム(遊びや学習			
		支援等) を定期的に行			
		っていると回答する			

*進捗状況:1計画より進んでいる、2計画どおり進んでいる、3計画より遅れている、4その他

② 事業進捗に関する報告

1.事業計画に掲げた短期アウトカムの達成の見込み	
1.達成の見込み	
2.アウトカムの状況	
A:変更項目	
□変更なし □短期アウトカムの内容 □短期アウトカムの表現	☑短期アウトカムの指標 ロアウトカムの目標値
3. (任意) 活動に関する報告	

③ 広報に関する報告

- 1. シンボルマークの使用状況
 - **☑**自団体のウェブサイトで表示している **☑**広報制作物に表示している
 - □報告書に表示している ☑イベント実施時に表示している □その他
 - →「その他」を選択した場合は記載してください(自由記述):
- 2. 広報
- 1.メディア掲載(TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等)
- 8/26 福島民報新聞(下記添付)
- 2.広報制作物等
- 3.報告書等
- 3. イベント開催等(シンポジウム、フォーラム等)
 - こども食堂広報講座 (9/15、9/30)

添付資料

活動の写真(画像データは1枚2MG以下、3~4枚程度)





